

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

一般社団法人ガジュマル 令和3年3月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			1階：指導訓練室35.66㎡、3階：事務所・相談室44.79㎡、トイレ各階5㎡
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			児童発達支援管理責任者1名、管理者・児童指導員1名、保育士1名、教員・児童指導員2名、児童指導員2名、その他の指導員1名 ※児童指導員の内1名は、令和3年4月～休暇明けで復職します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			指導訓練室：京都市建築物のバリアフリーの促進に関する条例第6条第4項の規定による検査を受け、適合検査済です。※事務室はバックヤードとしての扱いになります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			スタッフ1名に対し、受け持ち児童4～5名と振り分け、担当制で自立課題やコグトレを設定しています。日々支援前後で日案の確認とともに、コグトレや自立課題について意見交換や、見る視点の共有を行い支援に入ります。日々の個別記録をもとに、参可可能なスタッフで、成長の過程や背景、関りを計画に沿って振り返り、目標設定の見直しを行っています。（個別支援会議。半年に1回全児童実施。）
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			今年度も配布・集計済です。皆様からの貴重なご意見を今後の支援に役立てたいと思います。ご協力ありがとうございました。

業務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			保護者等向け評価表と、事業所自己評価をHP上で掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓			令和2年度は3月に京都市担当課より監査を受けております。ご指摘いただいた部分は改善しています。令和3年度は第三者評価機構へ依頼する予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			施設外研修：労務管理士資格認定講座、医療的ケア児等コーディネーター養成研修、令和2年度放課後等デイサービス関係職員研修、オンラインセミナー「人員配置と実地指導」基本の考え方（職員向け研修）、令和2年度京都府福祉従事者専門研修、施設内研修：「障がい者虐待防止法の理解と対応」その他：全障研オンラインセミナー（私的研修参加）
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			アセスメント表Ⅰ・Ⅱでアセスメントを行い、通所開始前に個別支援会議を開催し、児童発達支援管理責任者と児童指導員で個別支援計画書を作成し保護者へ提案、同意を得る。通所後は半年に1回個別支援会議を全児童実施。（4月～6月、10月～12月）保護者と面談し、モニタリングを実施（6月、12月）、個別支援計画の見直しを行い、説明同意を得ている。また保護者へモニタリングシート、個別支援計画はその都度交付しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			アセスメントⅠ・Ⅱを活用。子どもたちとの関りを通して得た情報を、一般発達検査表や感覚統合のツールを参考に分析し、見立て療育方針を立てている。発達検査結果に基づきアセスメントしています。

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			主に常勤・非常勤務者関わらず、皆で子どもたちについて日々検討し、自立課題を作成・準備し、活動内容の決定、日案作成をしています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			個々の目標に沿って自立課題を行っています。基礎感覚を刺激する遊びで子どもたちの能力に合わせて確実にでき、自信がつく内容で集団療育を行っています。遊びや共同制作なども行いチームワーク、対話力の向上も図れるようプログラムに組み込んでいます。「遊びの目当ては何か」スタッフ間で協議しながら考えて実施しています。固定化しないよういくつか種類を用意していますが、力が定着できるように飽きないように工夫しつつ、同じ内容を継続する場合があります。頑張った後の自由遊びは壁に掲示した写真など視覚支援で自己選択しやすくしています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			平日休日問わず、プログラムを決めて活動しています。保育士・教員・看護師等他職種で意見交換をしつつ、日々意味のある療育活動になるよう工夫をしたプログラムを作成しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			アセスメントツールを利用して、スタッフ間で検討し、子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			支援開始前にはその日の日案と送迎表を確認し、スタッフ間で必ず打合せをしています。その日行われる支援の内容や役割分担について確認しています。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			支援終了後の振り返りで、情報を共有し、個別記録や管理日誌にも記録しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			リズムの記録以外に自立課題の詳細を個別に記録し、引き継ぐようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			モニタリング一覧表を作成し、点検して半年に1回モニタリングを実施しています。会議は30分程度で行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	✓			ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			児童発達支援管理責任者と管理者で行くようにしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓			時間割、学校HPで情報収集し、保護者や担任の先生にも必要に応じて連絡し調整しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓			主治医からの指示書や、診療情報提供書を頂いて保管している。対応は必要に応じて個別マニュアルを作成しいつでも閲覧できるようにしています。

関係機関や保護者との連携

23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			園からの情報提供書を確認し、必要に応じて訪問または電話連絡をして指導方法や経過について情報共有と相互理解に努めています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			ガジュマルを卒業し、他の事業所や他のサービスへ移行される方は、直近のモニタリング記録と引き継ぎ書を作成し交付しています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			必要時行っています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓	現在は新型コロナウイルス感染症の兼ね合いで行っていません。近隣に住むお子様をはじめ地域の方々をご招待して夏祭り等でできれば良いと考えますが、個人情報の観点でどうなのか、保護者様のご意見等伺いつつ、誰にとっても良い形で交流できる方法を見つけて行きたいと思います。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			✓	(地域自立支援)協議会等へ出来る限りで参加しています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			日頃から子どもの状況を保護者と伝え合うようにしています。子どもの発達の状況や課題についても共通理解を持てるよう努めています。お忙しいご世帯もあるので、LINE等も活用しています。

29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			✓	保護者様と、一緒に考えるようにしています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			重要事項説明書にて、必ず同意・サインをいただいで事業所内に保管しています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			出来るだけ対応をさせていただいています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓	賛否両論あるので検討中です。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今しばらく難しいと考えます。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			重要事項説明書にて苦情解決の体制及び手順を説明し、同意を得ています。※内容については重要事項説明書をご確認ください。ご意見をいただいた際にはその日のうちに周知を行います。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			毎月予定表を配布しています。通信は年3~4回のペースで発行しています。
35	個人情報に十分注意しているか	✓			鍵付き書庫に保管する。個人情報保護遵守に関する誓約を職員に周知・誓約書の記入を行うなど個人情報に十分注意をするようにしています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			視覚支援を取り入れわかりやすくする。短い言葉で端的に伝えるなど配慮をするようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			✓	現在は新型コロナウイルス感染症の兼ね合いで行っていません。近隣に住むお子様をはじめ地域の方々をご招待して夏祭り等できれば良いと考えますが、個人情報の観点でどうなのか、保護者様のご意見等伺いつつ、誰にとっても良い形で交流できる方法を見つけていきたいと思っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			✓	HPでPDF化して掲載しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			避難訓練、引き渡し訓練等防災訓練は年4回実施しています。HPにてご確認ください。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			施設内研修：「障がい者虐待防止法の理解と対応」を毎年行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか			✓	対象児童がいない為ありません。

非常時等の対応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			卵乳製品禁 個々に対応させて頂いています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			管理日誌に記録欄があり、いつでも閲覧できるようにしています。